# 15年、20年後の幸せを築く学生時代

## 江口吾朗理事長と仲良し4人組

とある日の午後。江口吾朗理事長が、
美術の授業中に屋外で絵を描いていた
尚絅高校1年の4人に目を止められました。
「何をしているの？ 私の若い頃の夢は画家だったんですよ」
と語りかけられ、それぞれの絵にアドバイスも。
そして後日、絵の話から若い人達がどのように
自分の将来の夢を見付け、実現すれば良いかなどを
語り合う楽しい時間をご用意くださいました。

前列左より理事長、渡辺沙莉衣さん、田代真理さん　後列左より菊地結子さん、石坂涼子さん

### 夢を叶えるために…

**渡辺**　先日は絵を見て下さってありがとうございました。先生の夢は、画家になることだったのですか？

**理事長**　絵は上手でしたよ。私が若い頃に描いた絵をお見せしましょう。中学時代に、図書館にあった昆虫図鑑を描き写したものと、大学の学生時代に、ノーベル生理学・医学賞を受賞したシュペーマン先生の伝記の挿し絵を描いて下さいと恩師から依頼を受け、セピア色の小さな写真をもとに描いた絵です。

**全員**　すごい！上手ですね。

**石坂**　私は保育士になりたいのですが、同じ夢を持っている人が沢山いるので、就職先を探すのが難しいと思っています。

**理事長**　確かに同じ資格を持つ人が多い程、就職先が減りますね。資格がありさえすれば、必ずその職業に就けるものでもありません。では、資格をとって希望の夢を叶えるには、どうしたらいいんだろう？

シュペーマン氏の伝記に使用された挿し絵

理事長が中学生の頃（1949年）に昆虫図鑑が欲しくて図書館に出かけ模写したノート

**全員**　うーん…

**理事長**　それはね、同じ資格を持つ人の中で光ったらいいんですよ。相手を蹴落とすのではなく、自分に磨きをかけて光る努力をすると、道は開けます。

**田代**　先生はなぜ尚絅の理事長になったんですか？

**理事長**　これは運命ですね。以前から熊本にはお世話になっていましたので、少しでも恩返しが出来ればと思っています。貴方達が高校を卒業して、社会の中心で活躍できるのは、早くて十五年先。学園は、貴方達が社会で活躍する頃、世の中がどう変わって、その時何が求められるかを考える必要があります。どんどん高齢化が進むと、人を楽しませるような仕事」が凄く大事になってくると思います。尚絅が掲げる「食育」も一つのキーワードですね。

**田代**　食育ってどういう勉強をするんですか？

**理事長**　例えば病院で出される病院食でも、栄養だけを計算して嗜好を考えないでいると、「おいしくない。」と患者さんは残してしまう。残すと栄養は取れませんね。尚絅で管理栄養士になる方々には、是非、栄養管理ができて、安い原料でおいしいものが作れるような人になって欲しいと思いますね。

### 尚絅のここは直してほしい！

**石坂**　学校全体を古い体育館をはじめ、建て直して欲しいんです。

**菊地**　毎週体育館で、二十分位の集会があるんですが、夏はとても暑くて…

**理事長**　建て直す予定です。しかし、現在の九品寺校地には建築上の制約があり、学校全体を見直す必要があります。例えば、プールはどうしても校内に必要かといったことも含め、できるだけ資肉を落として、土地を有効利用し、オープンスペースを増やして、いい建物を建てたいと考えています。

**田代**　現代はほとんどの人が携帯を持っているのですが、本校では、携帯電話を持っていたら解約させられます。

渡辺さん作

**理事長**　なるほど。携帯電話の使い方を間違うと不幸が起りますよね。特にメール。お互い顔を見て話せば、冗談で言っているのが分かるのに、文字だけで簡単にやり取りできるメールは、文章を丁寧に表現しないと誤解されますよね。あまり便利になりすぎると人間性が失われて、いじめや口殺にも繋がりかねません。実際にそのような事件は起っていますね。様々な危険を避けるには、学校としては所持禁止にした方がいいと考えるのです。ですが、学生の皆さんが自発的に「安全安心に携帯電話を使います」という規則を作って、積極的に学園に働きかける事も非常に大事だと思います。

### 職は与えられたもの

**菊地**　私の夢は、バレリーナになることです。海外留学もしたいし、有名人にもなりたいのです。

**理事長**　なるほど。その貴方の大切な夢を実現するためには、まずバレエが好きであることと、本当にその才能があるかどうかを見極めることが大事ですね。才能が無いと、いくらなりたくても無理ですね。

**菊地**　才能があるかどうかを見極めるには、どうしたらいいのですか？

**理事長**　実は、それは非常に難しいんです。人間は、若ければ若い程、多様な才能を可能性として持っています。その可能性と自分の夢とを一致させることが大事ですね。それを大学卒業位までに出来た人は、目標に叶うような仕事に就くことができると僕は思います。だから今、貴方達がすべきことは、「自分の才能」と、「自分がこういう生き方をしたい、こういう人になりたいという「目標」とを一致させることだと思います。僕は若い頃、学者の道を選びました。自分で選んだつもりでしたが、歳を経て、世界に通用する学者になった時、自分で選んだのではなくて与えられたのだと思いました。「自分で選んだつもりになっている」と、ふとした時に選び方を間違ったなぁと思う。すると他にもっといい道があるかもしれないと思って、探そうとするんです。「選び方を間違った」と思った途端に挫折が起こる訳です。ですから、どんな仕事でも、「与えられた職」だと思えば、失敗したって、与えられたんだから、辞めるなんてとんでもない。もっと努力しなければと頑張れる訳です。それが「天職」なんです。「職」というのは、「与えられたものである」と思いなさい。そして、将来の道を探す時は、人につられないこと、格好のよさを気にしないことですね。自分が幸せになることだけ考えること。ご両親も貴方達が幸せになってくれたら、それが一番嬉しい筈です。若い時は、自分を大事にして、自分の幸せのために夢と目標を掲げ、是非そのために必要な勉強をして下さい。

田代さん作

石坂さん作

菊地さん作